

核軍縮・不拡散をめぐる 2022年の動向

『ひろしまレポート』ウェビナー
2023年3月28日

日本国際問題研究所
軍縮・科学技術センター
戸崎 洋史

ひろしまレポート2023年版 (2023年4月中旬刊行予定)

- 核軍縮（41←32項目）、核不拡散（19←17項目）、核セキュリティ（18←16項目）に係る34カ国の2022年の動向を客観的な視点で調査・評価

- 調査対象国

- NPT上の核兵器国：中国、フランス、ロシア、英国、米国
- NPT非締約国：インド、イスラエル、パキスタン
- 非核兵器国：豪州、ブラジル、カナダ、ドイツ、イラン、日本、カザフスタン、韓国、メキシコ、オランダ、ノルウェー、南アフリカ、スウェーデン、スイス、トルコ
 - ◆ 核軍縮・不拡散のみ：オーストリア、エジプト、インドネシア、ニュージーランド、ポーランド、サウジアラビア、シリア
 - ◆ 核セキュリティのみ：ベルギー、フィンランド、UAE
- その他：北朝鮮

核兵器保有数の推移

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
中国	240	250	250	260	260	270	280	290	320	350	350
フランス	300	300	300	300	300	300	300	300	290	290	290
ロシア	10,000	8,500	8,000	7,500	7,290	7,000	6,850	6,500	6,375	6,255	5,977
英国	225	225	225	215	215	215	215	200	195-215	225	225
米国	8,000	7,700	7,300	7,260	7,000	6,800	6,450	6,185	5,800	5,550	5,428
インド	80-100	90-110	90-110	90-110	100-120	120-130	130-140	130-140	150	156	160
パキスタン	90-110	100-120	100-120	100-120	100-130	130-140	140-150	150-160	160	165	165
イスラエル	80	80	80	80	80	80	80	80-90	90	90	90
北朝鮮 ^(a)	?	6-8	6-8	6-8	10	10-20	10-20	20-30	30-40	40-50	20
世界 ^(b)	19,000	17,270	16,350	15,850	15,395	14,935	14,465	13,865	13,400	13,080	12,705

(a) 2012～2021年の北朝鮮の核兵器保有数は、北朝鮮が生産した核分裂性物質の量から製造可能な核弾頭の数を示したものである。

(b) 2012～2021年の世界の総数に、北朝鮮の核兵器保有数は含まれていない。

出典) Stockholm International Peace Research Institute (SIPRI), *SIPRI Yearbook: Armaments, Disarmament and International Security* (Oxford: Oxford University Press).

核軍縮 (1)

- **ロシアの核恫喝を伴うウクライナ侵略**
 - ブダペスト覚書や消極的安全保証に反する行為
 - 核兵器の使用可能性に対する懸念
 - 核保有国：同盟国：核兵器の国家安全保障における役割の再認識
 - 核軍備管理をめぐる核兵器国間の亀裂
- **核兵器の漸減；運用中の核弾頭数にかかる削減の停滞**
- **核戦力の近代化・強化：特に露、中、北朝鮮の積極性**
- **米「核態勢見直し (NPR)」**
 - 戦略核三本柱の近代化；SLCM-Nの開発中止
 - 「基本的役割」（←唯一目的 (sole purpose) の不採用)

核軍縮 (2)

- **第10回NPT運用検討会議 (2022年8月)**
 - ロシアの最終文書採択反対；中国の「攻勢」
 - 岸田総理の出席：「ヒロシマ・アクション・プラン」
- **核兵器禁止条約第1回締約国会議 (2022年6月)**
 - 「宣言」「ウィーン行動計画」「決定」
 - 核保有国・同盟国の反対；一部の米同盟国（豪、独など）、スウェーデン、スイスなどがオブザーバー参加
- **新START：ロシアによる現地査察の受け入れ（一時）停止**
- **「核戦争に勝者はありません、核戦争は決して戦われてはならない」**
- **核軍縮・不拡散教育、ジェンダーを含む多様性・包摂性、市民社会の参加の重要性**

	核兵器のない世界に向けた 共通のロードマップ構築の ための取組	核兵器のない世界に向けて	核軍縮	核兵器禁止条約	核兵器の威嚇または使用の 合法性に関する ICI の勧告 的意見のフォローアップ	核兵器使用禁止条約	核兵器の非人道的結末	核兵器のない世界の倫理的 重要性
中国	×	△*)	○	×	○	○	△	○*)
フランス	○	△*)	×	×	×	×	×	×
ロシア	×	×	×	×	×	△	×	×
英国	○	△*)	×	×	×	×	×	×
米国	○	△*)	×	×	×	×	×	×
インド	△	×	△	×	△	○	○	△
イスラエル	△	×	×	×	×	×	×	×
パキスタン	△	△	△	×	○	△	△	△
豪州	○	△	×	△*)	×	×	△	×
オーストリア	○*)	○	△	○	○	×	○	○
ブラジル	△	○	○	○	○	△	○	○
カナダ	○	○*)	×	×	△	×	△	×
エジプト	△	○	○	○	○	○	○	○
ドイツ	○	○*)	×	×	×	×	△	×
インドネシア	△	○	○	○	○	○	○	○
イラン	△	○	○	○	○	○	○	○
日本	○	○*)	△	×	△	△	○	△
カザフスタン	△*)	○	○	○	○	○	○	○
韓国	○*)	△	×	×	×	×	△	×
メキシコ	○*)	○	○	○	○	○	○	○
オランダ	○	○*)	×	×	×	×	△	×
ニュージーランド	○*)	○	△	○	○	×	○	○
ノルウェー	○	○*)	×	×	×	×	△	×
ポーランド	○	△*)	×	×	×	×	×	×
サウジアラビア	○	○	○	△	○	○	○	○
南アフリカ	×*)	○	△	○	○	○	○	○
スウェーデン	○	○	×*)	×*)	×*)	×	△*)	×*)
スイス	○	○	×	△	○	×	○	△
シリア	×	○	○	?	○	○	○	○
トルコ	○	△*)	×	×	×	×	△	×
北朝鮮	×	△*)	△	×	△	△	△	△

[○：賛成 ×：反対 △：棄権 ?：投票せず]

*) 前年から投票行動に変化

核不拡散

● 北朝鮮

- 積極的な核・ミサイル開発の継続
- 法令「核戦力政策について」：核兵器の戦略的／戦術的活用
- 安保理決議に違反する調達・不法取引の継続

● イラン核問題

- JCPOAの一部履行停止の拡大：濃縮ウラン保有量・濃縮度、稼働する遠心分離機の数・性能など（60%濃縮ウラン）
- IAEA保障措置協定追加議定書の暫定適用などを停止
- 申告の完全性・正確性に関する未解決の問題
- JCPOA再建に至らず（2022年）

● AUKUS：豪州の原潜導入にかかる保障措置の実施に関するIAEAとの議論の開始

● 中国：2018年以降、「プルトニウム管理指針」に基づく報告書を未提出